

63号本誌記事の訂正について

63号の文章に、言葉足らずで誤解を生む表現、あるいは誤りがありました。以下のように訂正いたします（すでに電子版で告知済み）。

★6頁右列1～4行目（印刷版、Web版とも）。

症状改善傾向は、長期継続ができた人

<訂正前>

この論文では、MMSEスコアがメマンチン使用前の9.7から2年後には6.3、5年後3.4、7年後2.9と、改善しているかのようなデータを示している。

<訂正後>

この論文では、ドネペジルやメマンチンが導入される以前に実施された海外のCERAD試験のデータから分析したMMSEスコアの変化（使用前10点から2年後に1.6点と急激に悪化）と比較して、MMSEスコアの低下が、メマンチン使用前の9.7点から、2年後には6.3点、5年後3.4点、7年後2.9点と緩やかであることから、症状

の進行が食い止められているかのようなデータを示している。

★4頁のコラムその2 図1の余白に以下を追加（印刷版のみ：Web版は訂正不要）

参考：

1. Junqueira ed. Basic Histology 11th ed. 2005
2. http://www.kyoto-su.ac.jp/project/st/st14_06.html

★5頁 コラムその2 左列2～4行目（印刷版、Web版とも）

<訂正前>

・・・興奮性の神経伝達物質はグルタミン酸やドパミン、ノルアドレナリン、カテコラミン（セロトニンなど）や、アセチルコリンがある。

<訂正後>

・・・興奮性の神経伝達物質はグルタミン酸や、モノアミン（ドパミン、ノルアドレナリン、セロトニンなど）、アセチルコリンなどがある。

薬のチェックTIP 編集委員会

編集長 浜 六郎 副編集長 木元康介、坂口啓子

編集委員 大津史子、高野良彦、谷田憲俊、中西剛明、安田能暢、柳元和

翻訳担当 高町晃司、中村朱里

編集アドバイザー 岩本佳代子、梅田忠斉、金美恵子、隅田さちえ、瀬川雄介、寺岡章雄、戸井千紘、本沢龍生、向井淳治

薬のチェックTIP

第16巻 第64号（2016年3月20日発行）

年6回（1, 3, 5, 7, 9, 11月）発行、年間購読料 6000円（税・送料込み）

発行人 浜 六郎

発行所 特定非営利活動法人医薬ビジランスセンター（通称：薬のチェック）

所在地 大阪市天王寺区上汐 5-1-20-702

（郵便は 543-8791 大阪市天王寺郵便局私書箱 4号へ）

TEL 06-6771-6345 FAX 06-6771-6347 <http://npjip.org>

表紙装丁 和久井昌幸

制作 さいろ社

印刷所 モリモト印刷株式会社



ISDBとは1986年に創設された医薬品情報誌の国際ネットワーク。その目的は、製薬企業から独立して、薬剤や治療に関する質の高い情報の国際交流を促進することであり、本誌「薬のチェックTIP」は日本で唯一のISDBメンバーである。<http://www.isdbweb.org/>